

## サイバー犯罪抑止に貢献

### 県警 大学生2人に感謝状



戸塚課長(左)から感謝状を受け取る浅羽さんと小泉さん(右)＝県警本部

県警サイバー犯罪対策課は14日、積極的なサイバーパトロールで県民の犯罪被害抑止などに貢献したとして、「サイバー防犯ボランティア」に委嘱している県内の大学生2人に感謝状を贈った。戸塚浩之課長が県警本部での贈呈式で「イン

ターネット空間の浄化活動に尽力し、違法な有害情報を多く寄せしてくれた。早期除去に多大な貢献をした」と謝意を伝えた。感謝状を受けたのは、同ボランティアを2023年から続ける静岡理工科大学情報学部の4年浅羽晃暉さん

(22)＝磐田市(2)と2年小泉賜佑さん(20)＝静岡市駿河区(2)。2人とも各種SNS上で、違法薬物関連の俗語や有害広告を数多く発見してその都度、関係機関への通報を徹底してきた。

浅羽さんは「活動を通じて知識を蓄えることができ、母親から相談を受けた際も詐欺メールと気付けた。社会人になっても人の役に立ちたい」と喜んだ。友人2人と一緒に活動を始めた小泉さんは「微力ながら、防衛力をつけるためにも続けたい。情報部門の勉強も頑張る」と意気込んでいる。

感謝状贈呈は昨年度の1人に続き2回目。現在、同ボランティアは県内に大学生を中心に141人いる。